

変動を生き抜く力



文学部長

河西 良治

新入生の皆さん、ご入学おめでとございます。

東日本大震災という未曾有の大惨事のおかげで本学に入学される皆さんは、今までで経験したことがないような出来事に日々遭遇し不安な気持ちを高めていることと思います。今回の大惨事に限らず、私たちの人生にはいつ何が起るかわからない変動性がたえずつきまといつていきます。このような激変にも耐えうるような智恵と力を大学時代に養ってほしいと願っています。

大学時代は、私自身の過去を振り返ってみても、人生のなかで、いろんなことに出会い、いろんな新しいことに挑戦できる自由な時代であったと思います。皆さんもきっと同じように、学問研究の場で様々な先生や書物に出会い、サークルやアルバイトの場でも様々な人や出来事に出会うことでしょう。関心や生活の場が大きく広がる大学時代には、いままでは違う多様なものとの出会いがたくさんあることと思います。そのような新しい環境のなかにいる皆さんに期待したいことは、自分とは異なるものや多様なものと数多く出会うことよって「自分」

というものを発見し、さらにその自分を練磨して成長させていってほしいということです。自分とは異なるものを理解し受け入れるためには大きな度量がなくてはなりません。そのためには、自分や自分の回りの現実をよく見て深く考える習慣を身につけることが大切だと思います。成熟させておくことが大切だと思います。

どれほど大きな器の人間に成長できるかが、この激動の社会に生きていく鍵になると思います。人生の激しい多様な変化に柔軟に対応できるためには、洞察力だけでなく、持久力や創造力も必要だと思っています。異質なものに挑戦して自分を変えていく柔軟性、よく見て深く考える洞察力、目標達成に至るまで持ちこたえられる持久力、そして、難局に創意工夫して活路を見出せる創造力をぜひ身につけてほしいと思います。また、世界的規模で大変動が起きている今の時代には、日本だけでなく、アジア、それ以外の世界諸国の情勢にも目を開き、世界の課題にも積極的に取り組めるような挑戦的な精神もぜひ育成してほしいものです。皆さんの一人ひとりが充実した大学時代を送れるように、私たちも心から応援いたします。

危機を乗り越えて復興する社会の力になってください



総合政策学部長

河野 光雄

入学おめでと。

皆さんの大学の進学は、東北地方太平洋沖地震でもたらされた未曾有の被害からの復興へ向けた懸命の努力の中で迎えられました。日々の安寧を願い、社会の安全を願ひながら災害に巻き込まれた多くの方々の苦難を思うにつけ、また人生に多くの仕事を残しながら命を絶たれた方々の無念を思うにつけ、胸が張り裂ける毎日です。大学進学を心待ちにしながら果たせなくなってしまった学生の心を思うと言葉も出ません。この苦難と無念さを背負って、一日も早い復興に向けた努力を続けていきたいと思えます。この大震災から見えたものは、私たちの社会が過去の経験の上に建てられていて想定外の事柄には無力であり、相互に複雑に関連する種々のパーツによって作られている社会システムは、一つの欠陥で全体の機能を停止するようなものであり、便利さと危険が背中合わせにあることでもあります。そして何よりも重要なことは意思決定の危うさということです。福島原発はまだ危機を制御できる段階にはありませんが、原発の保持を第一に考える立場と、原発を廃棄してでも安全を優先させる立場の選択における逡巡が事態を悪化させることになりました。私たちの毎日は、こうした選択の中でどのように意思決定するかが問われるものになっています。私たちは、事実を立脚すべき価値に照らして認識・

評価し、発言・行動する勇氣を持ちたいと思えます。今、人類の存在にかかわる多くの問題の複雑性をどのように対処するかが問われています。どの問題も人類の営みの総体を反映したものであり、個別専門分野の枠組みからのアプローチでは、問題の側面しか見えないことになり、真の解決をもたらさなばかりか、大きな副作用を生んで事態を一層の混迷に落とすことになりかねません。問題の背後で複雑に絡み合っている諸要因の関係を全的に明らかにする広範な知識の体系と強靱な思考力が求められています。また、すべての国の人々との協働を可能にし、それを強力に推進するに十分なコミュニケーション能力が不可欠です。こうした現代社会の要請を背景として総合政策学部は、専門分野横断的に科学と人文の知の統合を通して、複合的問題の解決を可能にする統合的実践知の教育を行い、国際的合意を形成する上で必要な共通言語を身につけさせる教育プログラムを具体的に提供することを通じて、人類の課題に果敢に挑戦する国際的人材の育成に取り組んでいます。これはまさに「實地應用ノ素ヲ養フ」建学の精神の現代における内実です。

総合政策学部では学生の皆さんに広い分野にわたる見識を求めため、不得意分野もきちんと勉強してもらうことになりました。諸学問は全てつながっていますから、得意分野の力を伸ばそうとすると、必ず不得意分野に出会い、不得意分野を避けては健全な力にはなりません。総合政策学部は、「できる」を「できる」に変えるをモットーに、不屈にチャレンジするみなさんを熱く応援します。危機を乗り越え、だれもが生きていてよかったと思える社会を目指して、組織や社会を牽引する責任を進んで引き受ける人になってください。